

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
男性同性間の HIV 感染対策とその介入効果に関する研究

東北地域における RDS 法を用いた携帯電話調査

研究協力者：新ヶ江章友（名古屋市立大学看護学部／財団法人エイズ予防財団）、金子典代、
市川誠一（名古屋市立大学看護学部）、太田貴、小浜耕治、庄子一昭、内海章友（や
ろっこ）、伊藤俊広（国立病院機構仙台医療センター）

研究要旨

本調査の目的は、RDS (Respondent Driven Sampling) 法を用いた携帯電話による調査システムを用いて、東北地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性的ネットワークを通して、HIV 予防啓発活動の浸透度、HIV 感染予防行動を継続的にモニタリングし、活動の評価資料を得ることにある。今年度の調査では、仙台市で開催されたゲイ・バイセクシュアル男性が集まるバレーボール大会参加者を通したネットワークと、HIV 予防啓発を行っている NGO やろっこの知人や友人を通したネットワークの二つを調査し、両群を比較分析した。バレーボール大会参加者のネットワーク（以下、バレーボール大会群とする）では 42 人、やろっこ群の知人・友人のネットワーク（以下、やろっこ群とする）では 80 人、計 122 人からの参加協力を得た。

両群間の比較において、バレーボール大会群では、ナルセックス時の特定／その場限りの相手とタチ（挿入する側）／ウケ（挿入される側）の行為において、コンドーム常用率がやろっこ群と比較して有意に低かった。やろっこ群では、予防啓発資材やイベントへの参加率も高く、コンドーム非常用のナルセックスの割合もバレーボール大会群と比較して低かった。過去 6 ヶ月間に使用した施設等に関しては両群間で大きな差は見られなかったため、ゲイバー、mixi などのインターネット、野外系ハッテン場などを通した予防啓発は効果的である可能性があるが、バレーボール大会群に対しては、大会開催時に様々な予防啓発資材やメッセージ等の提供も必要であることが示唆された。

A. 研究目的

本調査では、東北地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性的ネットワークを把握するために RDS 法を用いた携帯電話調査を実施することで、調査対象集団の HIV 感染リスク行動や啓発資材への曝露状況を理解することで、東北地域のゲイ・バイセクシュアル男性を対象としたよりよい予防啓発プログラムを開発する資料を NGO へと還元していくことにある。

B. 研究目的

1) アンケートシステムの概要

RDS 法を用いた携帯電話による質問項目の作成や調査の実施は、NGO 団体やろっことの協働で行われた。本調査システムは携帯電話からのみアクセスが可能であり、携帯電話に付属の電子メール機能を用いて対象者を紹介するシステムとなっている。

2) 対象者リクルート方法

対象者のリクルートは 2 つの異なった日時と場所で行われた。

①バレーボール大会でのリクルート

一つ目の調査は、仙台市で開催されたゲイ・バイセクシュアル男性によるゲイバー対抗バ

レーボール大会で行われた。大会は2009（平成21）年11月21日（土）の9時から16時まで、仙台市内の体育館を使用して実施された。バーボール大会の参加者は、観客と選手をあわせると約200人であった。

大会開会式の際にアンケートの実施要領や方法が記入されたカードを参加者に手渡し、回答協力を依頼した。このカードを大会開会式で受け取った層を、第1層とした。回答の有無に関わらず飲み物も一緒に手渡した。アンケート回答者には、メールで送信可能なギフト券を提供し、第1層のアンケート回答者のうち友人にアンケートを紹介してくれたものに対し、抽選でパンツがあたるという方法も採用した。

第1層のものがアンケートに回答し終わると、自分のゲイ・バイセクシュアル男性の友人3人までにアンケートを送信することで、友人を紹介してもらう。この層を第2層とした。このように、第2層のものも自分の友人にアンケートを送信するというシステムを採用することで、第3層、第4層と層が拡大していく。

②やろっこメンバーからの直接のリクルート
二つ目の調査は、やろっこのメンバーが直接友人に調査カードを手渡したり、メールで依頼したり、mixiのやろっこコミュニティに所属しているメンバーにメールで依頼したりして周知させた。アンケートの実施は、2010（平成22）年1月25日から2月19日までとした。

配布カードはバーボール大会のときに配布したものと同様のもので、アンケートの質問項目も同様のものである。

第1層は、やろっこのメンバーから直接配布カードを受け取ったもので、直接の手渡しによるもの、メールによるもの、mixiのやろっこコミュニティに所属しているメンバーへのメールによるものである。第1層のものがアンケートに回答し終わると、自分のゲイ・

バイセクシュアル男性の友人3人までにアンケートを送信することで、友人を紹介してもらう。この層を第2層とした。このように、第2層のものも自分の友人にアンケートを送信するというシステムを採用することで、第3層、第4層と層が拡大していく。

3) 調査項目

質問項目は、年齢、居住地、性的指向などの基礎属性のほか、性行動、HIV感染予防行動、やろっこが提供している予防資材の認知など、計22問とした。

データの集計および統計処理には、SPSS11.5J（Windows）を用いた。分析でクロス集計を行う際にはカイ二乗検定を用い、有意水準は5%を採用した。

なお、本研究実施計画については、名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より、実施の承諾を得た（ID番号：08010）。

C. 研究結果

1) 基礎分析

①バーボール大会参加者ネットワーク

バーボール大会での調査参加者は全部で42人であった。そのうち第1層は33人、第2層は7人、第3層は2人であった。紹介は第3層までのびた。

年齢は39歳以下のものが8割弱であり、居住地は仙台市を含む宮城県が6割であった。生涯のHIV抗体検査受検経験ありのものの割合は50%（n=21）で、過去1年間の受検経験ありの割合は29%（n=12）であった。やろっこが配布しているコンドームを持ち帰ったことがあるものの割合は62%（n=26）で、やろっこが配布している予防啓発のポストカードを持ち帰ったことがあるものの割合は36%（n=15）であった。

②やろっこメンバーからの直接のリクルートによるネットワーク

やろっこメンバーからの配布カードの直接手渡しやメールなどによるリクルートでの参

加者は、全部で 80 人であった。そのうち第 1 層は 57 人、第 2 層は 19 人、第 3 層は 3 人、第 4 層は 1 人であった。紹介は第 4 層までのびた。生涯の HIV 抗体検査受検経験ありのものの割合は 56% (n=46) で、過去 1 年間の受検経験ありの割合は 24% (n=19) であった。やろっこ配布しているコンドームを持ち帰ったことがあるものの割合は 53% (n=42) で、やろっこ配布している予防啓発のポストカードを持ち帰ったことがあるものの割合は 43% (n=34) であった。

2) バレーボール大会参加者ネットワークとやろっこメンバーからのネットワークの比較

①基礎属性

本分析では、調査対象者を東北地域在住 MSM に限定した。バレーボール大会参加者からのネットワーク（以下、バレーボール大会群とする）を経て得られた回答者数は 40 人で、やろっこメンバーからのネットワーク（以下、やろっこ群とする）を経て得られた回答者数は 79 人であった。ここからは、両群の比較による分析を行う。

居住地としては、バレーボール大会群では青森県居住者が 18% (n=7) であり、やろっこ群では山形県居住者が 13% (n=10) であった。調査対象者の居住地に有意な差が見られた ($p=0.044$) (図 1)。

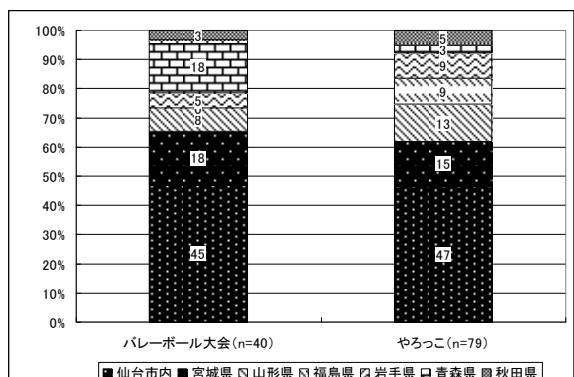


図 1 居住地

年齢は、バレーボール大会群では 39 歳以下が 80% (n=32) であり、やろっこ群では 40 歳以上が 38% (n=30) であったが、両群間に有意差は見られなかった ($p=0.118$) (図 2)。

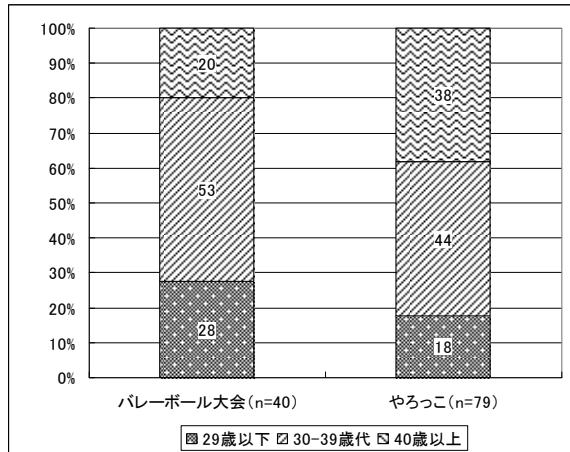


図 2 年齢

性的指向は、バレーボール大会群ではバイセクシュアルの割合が 20% (n=8)、その他・分からぬ・決めたくないが 5% (n=2) で、両者を合わせると 25% であった。やろっこ群との比較においては、有意差は見られなかった ($p=0.235$) (図 3)。

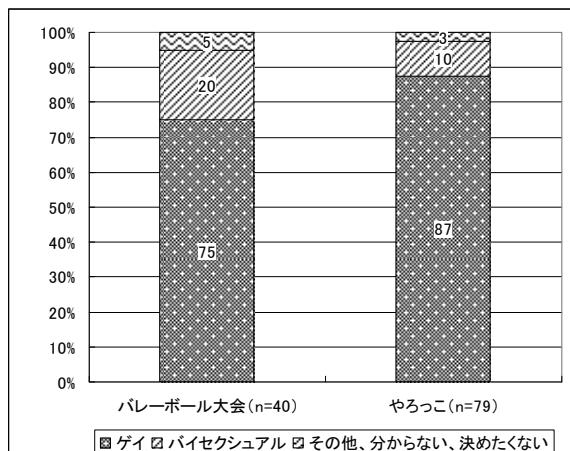


図 3 性的指向

②過去 6 ヶ月に利用した施設等

過去 6 ヶ月間に利用した施設などとしては、バレーボール大会群とやろっこ群の両群においてゲイバーの利用が高く、インターネットとしては mixi の利用も高い。ハッテン場としては、一般銭湯の利用が高かった。野外系ハ

ツテン場においては、やろっこ群が有意に高かった ($p=0.038$) (図 4)。

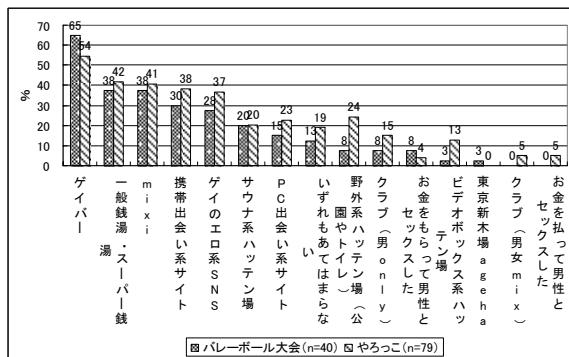


図 4 過去 6 ヶ月間に利用した施設等

過去 6 ヶ月間に、東北地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性の知り合いで実際に会った人の数は、やろっこ群では 1-9 人以下の割合が 42% ($n=33$) であり、バレー ボール群 21% ($n=8$) と比較すると高いが、有意差は見られなかった ($p=0.107$) (図 5)。

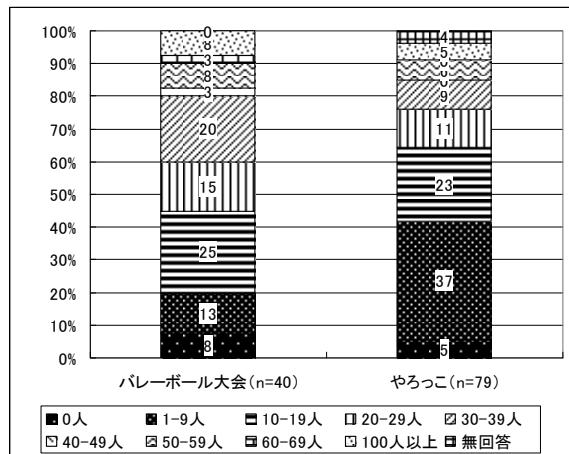


図 5 過去 6 ヶ月間にゲイ・バイセクシュアル男性の知人と出会った人数

③予防啓発活動の認知

東北地域で HIV/AIDS の予防啓発活動を行っているやろっこ群の認知については、知っていると答えたものの割合は、バレー ボール大会群では 75% ($n=30$)、やろっこ群では 81% ($n=64$) で、両群間に有意差は見られなかった。

やろっこが予防啓発として実施しているイベントやプログラムの認知に関して (知って

いると答えたものの割合) は、バレー ボール大会群では東北バー対抗バレー大会以外の認知は 30% 前後以下でやろっこ群と比較すると低い。とりわけ、Love Beach Project (仙台のゲイビーチでの清掃活動) に関しては、やろっこ群が有意に高かった ($p=0.029$) (図 6)。

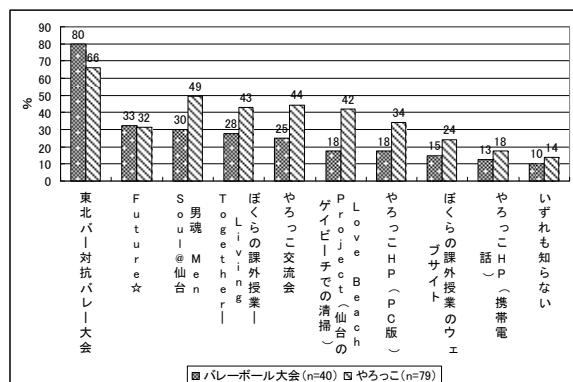


図 6 やろっこによる予防啓発のイベントやプログラムの認知

やろっこが配布しているコンドーム (図 7) を持ち帰ったことがあるかと、予防啓発用ポストカード (図 8) を持ち帰ったことがあるかに関しては、コンドームはバレー ボール大会群が 65% ($n=26$) とやろっこ群と比較すると高く、ポストカードはやろっこ群が 42% ($n=33$) と高かったが、両群間に有意差は見られなかった (コンドーム $p=0.173$ 、ポストカード $p=0.654$) (図 9)。



図 7 やろっこが配布しているコンドームのパッケージ

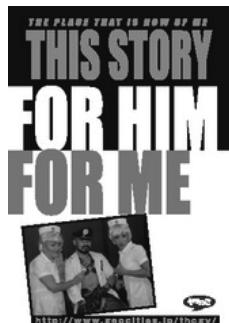


図 8 やろっこが配布している予防啓發のポストカード

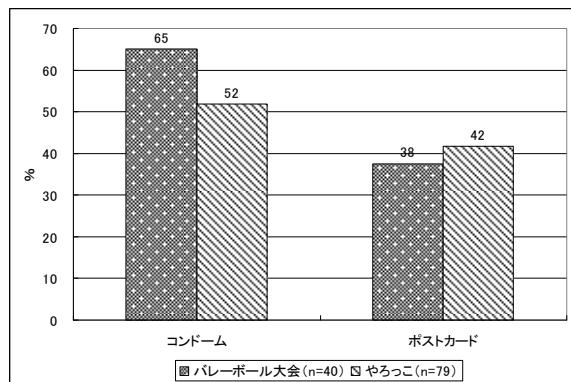


図 9 やろっこが配布するコンドームと啓發用ポストカードの持ち帰り

HIV 陽性者の身近さ感については、やろっこ群でいると答えたものの割合が 35% (n=28) で、パレーボール大会群と比較して高かったが、有意差は見られなかった (p=0.413) (図 10)。

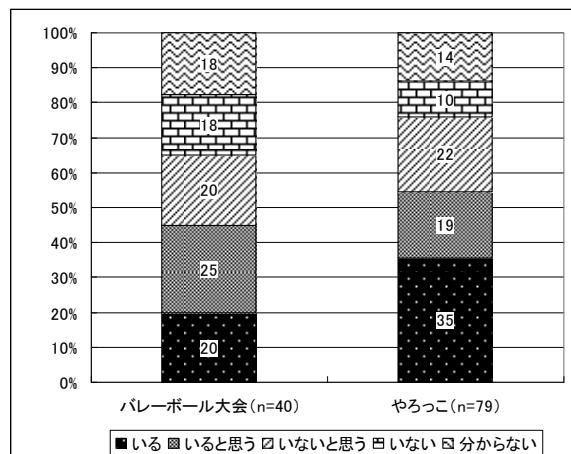


図 10 HIV 陽性者の身近さ感

④HIV 抗体検査受検行動

これまでに HIV 抗体検査を受検したことがあると答えたものの割合は、パレーボール大会群は 53% (n=21)、やろっこ群は 57% (n=45) で、両群間に有意差は見られなかった (p=0.132) (図 11)。

また、過去 1 年間に HIV 抗体検査を受検したことがあると答えたものの割合は、パレーボール大会群では 30% (n=12)、やろっこ群では 23% (n=18) で、両群間に有意差は見られなかった (p=0.574) (図 11)。やろっこ群では、1 年以上前に HIV 抗体陽性を確認していると答えたものは 5 人いた。

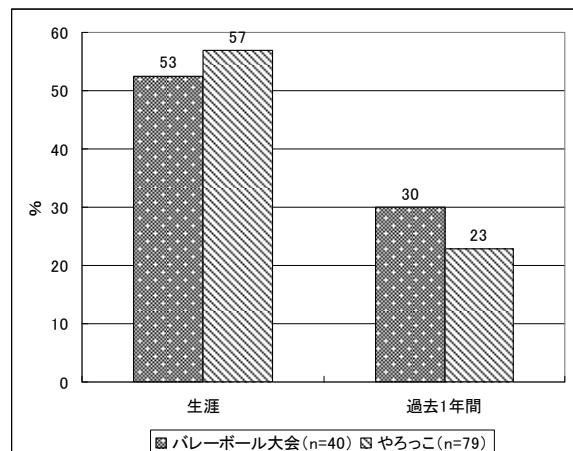


図 11 HIV 抗体検査受検経験

これまでに HIV 抗体検査を受検したことがあると答えた 66 人のうち、最後に HIV 抗体検査を受検した場所としては、保健所が最も高く 52% (n=35) で、病院・医院が 27% (n=18) であった (図 12)。

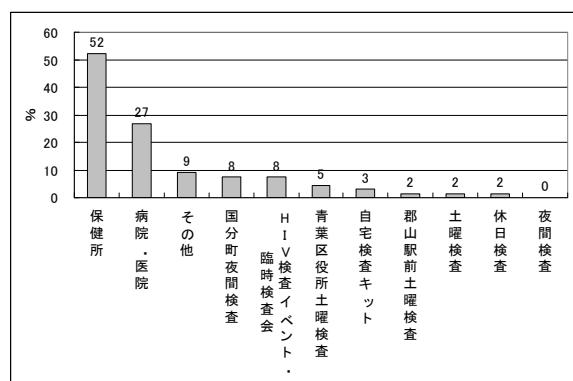


図 12 最後に HIV 抗体検査を受検した場所

⑤HIV/STI 感染予防行動とリスク認知

過去 6 ヶ月間の特定相手とタチ（挿入する側）のときのコンドーム使用状況について、バレー ボール大会群のうち、特定相手とタチの性行為を行ったものは 24 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率（コンドームを必ず使ったと答えた人の割合）は 12.5% (n=3) であった。また、やろっこ群のうち、特定相手とタチの性行為を行ったものは 48 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 50% (n=24) であった。コンドーム常用率に関しては、バレー ボール大会群のほうが有意に低かった ($p=0.002$) (図 13)。

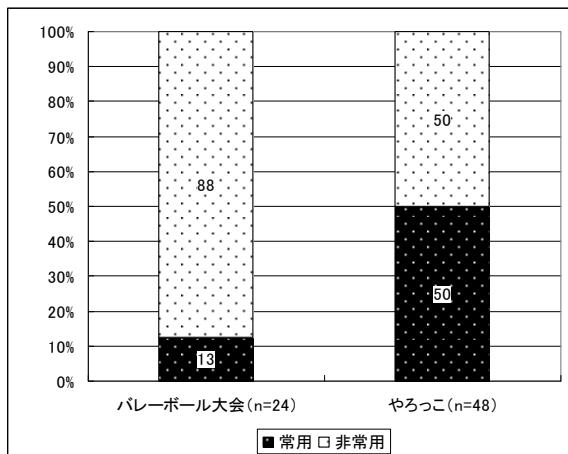


図 13 特定相手とタチのときのコンドーム常用率

過去 6 ヶ月間の特定相手とウケ（挿入される側）のときのコンドーム使用状況について、バレー ボール大会群のうち、特定相手とウケの性行為を行ったものは 19 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 31.6% (n=6) であった。また、やろっこ群のうち、特定相手とウケの性行為を行ったものは 36 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 61% (n=22) であった。コンドーム常用率に関しては、バレー ボール大会群のほうが有意に低かった ($p=0.037$) (図 14)。

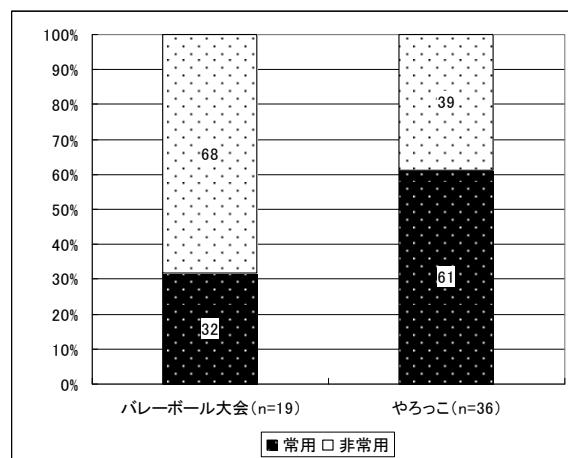


図 14 特定相手とウケのときのコンドーム常用率

過去 6 ヶ月間のその場限りの相手とタチ（挿入する側）のときのコンドーム使用状況について、バレー ボール大会群のうち、その場限りの相手とタチの性行為を行ったものは 12 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率（コンドームを必ず使ったと答えた人の割合）は 41.7% (n=5) であった。また、やろっこ群のうち、特定相手とタチの性行為を行ったものは 33 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 85% (n=28) であった。コンドーム常用率に関しては、バレー ボール大会群のほうが有意に低かった ($p=0.004$) (図 15)。

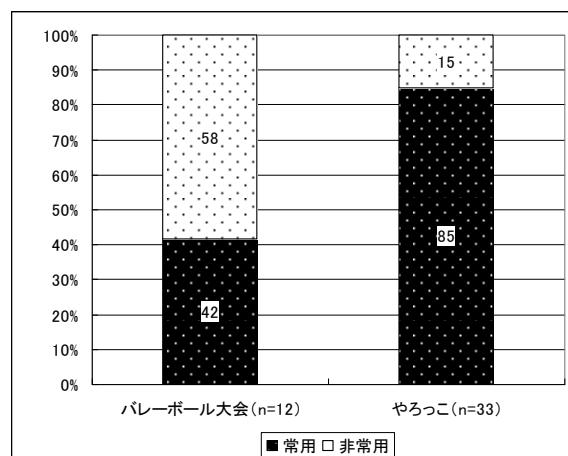


図 15 その場限りの相手とタチのときのコンドーム常用率

過去 6 ヶ月間のその場限りの相手とウケ（挿入される側）のときのコンドーム使用状況について、バレー ボール大会群のうち、その場限りの相手とウケの性行為を行ったものは 12 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 33% (n=4) であった。また、やろっこ群のうち、特定相手とウケの性行為を行ったものは 25 人で、そのうちアナルセックスの際のコンドーム常用率は 84% (n=21) であった。コンドーム常用率に関しては、バレー ボール大会群のほうが有意に低かった ($p=0.002$) (図 16)。

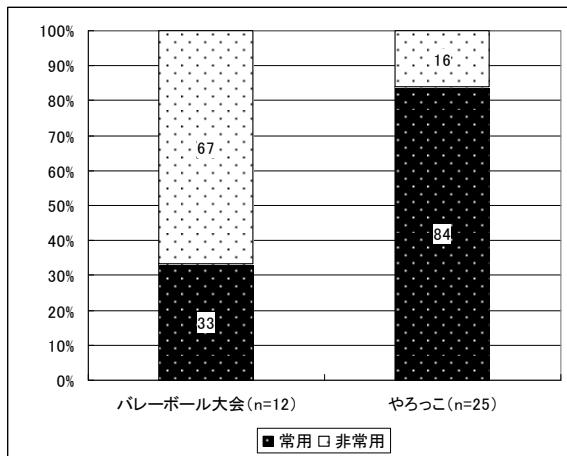


図 16 その場限りの相手とウケのときのコンドーム常用率

これまでの行動を振り返って HIV に感染する可能性があったかに関して、バレー ボール大会群は全くなかったと答えたものの割合が 35% (n=14) と、やろっこ群と比較して高かったが、有意差は見られなかった ($p=0.395$) (図 17)。バレー ボール大会群は、アナルセックス時のコンドーム常用率が低いが、HIV 感染リスク認知に関しては感染の可能性が高いと考えているものの割合が低いことが示唆された。

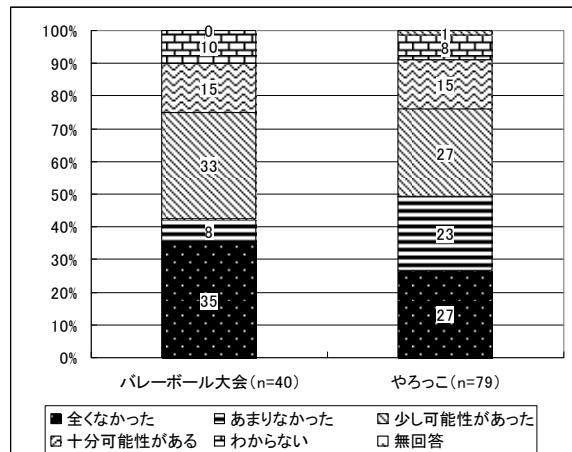


図 17 これまでの行動を振り返って HIV に感染する可能性があったか

今後、「彼氏、恋人、セフレなどの特定相手」とのアナルセックスの際に、コンドームを使用したいかに関して、毎回使いたいと答えたものの割合はやろっこ群で 48% (n=38) と、バレー ボール大会群と比較して高かった。バレー ボール大会群では、考えていないと答えたものの割合が 28% (n=11) と高かったが、両群間で有意差は見られなかった ($p=0.090$) (図 18)。

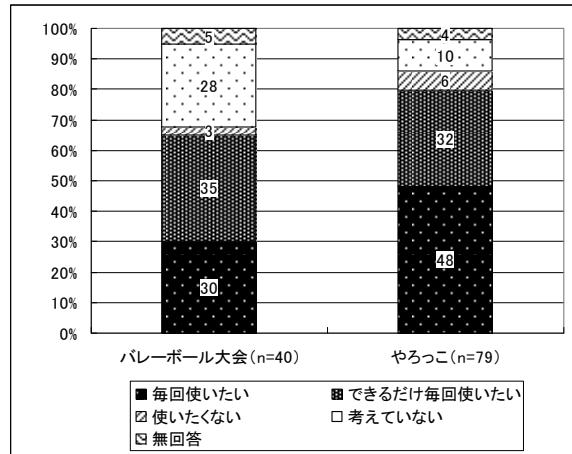


図 18 今後特定相手とコンドームを毎回使用したいか

今後、「その場限りの相手」とのアナルセックスの際に、コンドームを使用したいかに関して、毎回使いたいと答えたものの割合はやろっこ群で 80% (n=63) と、バレー ボール大会群と比較して高かった。バレー ボール大会

群では、考えていないと答えたものの割合が 15% (n=6) と高く、両群間で有意差が見られた ($p=0.014$) (図 19)。

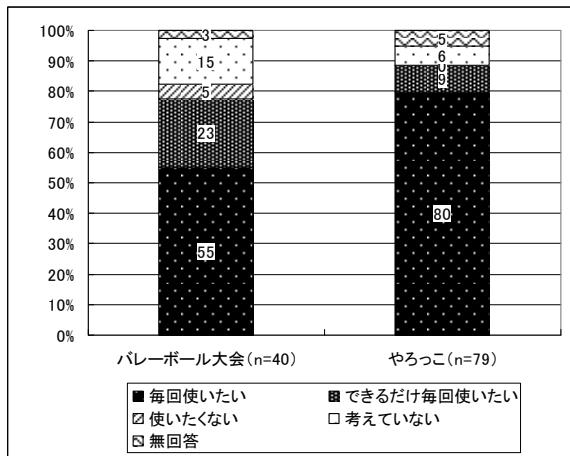


図 19 今後その場限りの相手とコンドームを毎回使用したいか

D. 考察

今回の調査では、バレーボール大会群とやろっこ群をあわせると 122 人の参加があった。バレーボール大会群の参加が 42 人と少なかったため、今後さらに協力を依頼する際に工夫が必要であるが、両群間の比較分析が可能となつた。その結果、バレーボール大会群とやろっこ群ではいくつかの差異が見られた。

両群間の比較において、バレーボール大会群では、ナルセックス時の特定／その場限りの相手とタチ（挿入する側）／ウケ（挿入される側）の行為において、コンドーム常用率がやろっこ群と比較して有意に低かった（特定タチ $p=0.002$ 、特定ウケ $p=0.037$ 、その場限りタチ $p=0.004$ 、その場限りウケ $p=0.002$ ）。たしかにやろっこ群は、東北地域での HIV 予防啓発を行っているメンバーからのネットワークであるため、予防に対する意識が高かったことが考えられる。しかし、バレーボール大会群では、やろっこ群と比較してコンドームの認知が高く、仮にコンドームが身近にある環境にありがながら常用しない場合、その背景に何があるのかを今後さらに解明していく必要があるだろう。いずれにせ

よ、バレーボール大会などのスポーツイベント参加者に対する予防啓発は、今後もイベント時などに行う必要がある。

過去 6 ヶ月間に使用した施設等に関しては両群間で大きな差は見られなかつた。とりわけバレーボール大会群では、ゲイバーの利用が高く、mixi などのインターネットの利用も高い。これらの媒体はやろっこ群での利用も高いが、両群間での予防啓発においては、これらの媒体の利用は効果的である可能性がある。またハッテン場としては、一般銭湯や野外系ハッテン場などの利用が高い。これらの施設を利用した予防啓発も効果が期待できる。

E. 発表論文等

なし

東北調査2009集計

	バレーボール(n=40)		やろっこ(n=79)		χ^2 検定
	人数	%	人数	%	
層					
第1層	31	77.5	56	70.9	0.712
第2層	7	17.5	19	24.1	
第3層以降	2	5.0	4	5.1	
計	40	100.0	79	100.0	
居住地	人数	%	人数	%	
仙台市	18	45.0	37	46.8	0.044
仙台市以外の宮城県	7	17.5	12	15.2	
山形県	3	7.5	10	12.7	
福島県	0	0.0	7	8.9	
岩手県	2	5.0	7	8.9	
青森県	7	17.5	2	2.5	
秋田県	3	7.5	4	5.1	
計	40	100.0	79	100.0	
性指向	人数	%	人数	%	
ゲイ(同性愛者)	30	75.0	69	87.3	0.235
バイセクシュアル	8	20.0	8	10.1	
その他、分からぬ、決めたくない	2	5.0	2	2.5	
計	40	100.0	79	100.0	
年代	人数	%	人数	%	
20代以下	11	27.5	14	17.7	0.118
30代	21	52.5	35	44.3	
40代以上	8	20.0	30	38.0	
計	40	100.0	79	100.0	
今通っている、または最後に通った学校はどこですか？(一つだけ)	人数	%	人数	%	
中学校	1	2.5	1	1.3	0.691
高校	10	25.0	27	34.2	
短大・専門学校	7	17.5	17	21.5	
大学	18	45.0	30	38.0	
大学院	2	5.0	3	3.8	
無回答	2	5.0	1	1.3	
計	40	100.0	79	100.0	
あなたの職業を教えてください(一つだけ)	人数	%	人数	%	
学生	4	10.0	2	2.5	0.343
アルバイト／パートタイム	5	12.5	10	12.7	
常勤(正規雇用)	18	45.0	43	54.4	
常勤(契約など非正規雇用)	8	20.0	8	10.1	
無職	1	2.5	5	6.3	
その他	4	10.0	10	12.7	
無回答	0	0.0	1	1.3	
計	40	100.0	79	100.0	
過去6ヶ月以内であてはまるものをすべてチェックしてください。あてはまる項目がない方は最後の「いずれもあてはまらない」をお選び下さい。(この問い合わせの中でいう「セックス」とは、フェラチオ、アナルセックス、相互オナニーを指します。)	人数	%	人数	%	
サウナ系ハッテン場に行った	8	20.0	16	20.3	0.369
ビデオボックス系ハッテン場に行った	1	2.5	10	12.7	0.078
野外系ハッテン場(公園やトイレ)に行った	3	7.5	19	24.1	0.038
一般銭湯・スーパー銭湯に行った	15	37.5	33	41.8	0.348
クラブ(男女mix)に行った	0	0.0	4	5.1	0.134
クラブ(男only)に行った	3	7.5	12	15.2	0.192
東京新木場のagehalに行った	1	2.5	0	0.0	0.134
ゲイバーに行った	26	65.0	43	54.4	0.166
お金をもらって男性とセックスした	3	7.5	3	3.8	0.246
お金を払って男性とセックスした	0	0.0	4	5.1	0.134
インターネットで知り合った男性とセックスした	6	15.0	18	22.8	0.238
携帯出会い系サイトで知り合った男性とセックスした	12	30.0	30	38.0	0.276
mixiを利用した	15	37.5	32	40.5	0.361
ゲイのエロ系SNSを利用した	11	27.5	29	36.7	0.243
いずれもあてはまらない	5	12.5	15	19.0	0.26

東北調査2009集計

	バレーボール(n=40)		やろっこ(n=79)		χ^2 検定
	人数	%	人数	%	
あなたは仙台地域で活動している「やろっこ」を知っていますか？					
知っている	30	75.0	64	81.0	0.435
知らない	8	20.0	14	17.7	
無回答	2	5.0	1	1.3	
計	40	100.0	79	100.0	
下記のイベントやプログラム、サイトを知っていますか？(いくつでも)					
ぼくらの課外授業-Living Together in Sendai-	11	27.5	34	43.0	0.25
男魂-Men Soul-@仙台	12	30.0	39	49.4	0.125
やろっこ交流会	10	25.0	35	44.3	0.118
Love Beach Project(仙台のゲイビーチでの清掃)	7	17.5	33	41.8	0.029
東北バー対抗バレー大会	32	80.0	52	65.8	0.255
Future☆	13	32.5	25	31.6	0.966
ぼくらの課外授業web site	6	15.0	19	24.1	0.516
やろっこホームページ(PC版)	7	17.5	27	34.2	0.16
やろっこブログ(携帯版)	5	12.5	14	17.7	0.762
いずれも知らない	4	10.0	11	13.9	0.83
これまでにHIV(エイズ)検査を受けたことがありますか？					
ある	21	52.5	45	57.0	0.132
ない	17	42.5	34	43.0	
無回答	2	5.0	0	0.0	
計	40	100.0	79	100.0	
過去1年間にHIV(エイズ)検査を受けたことがありますか？					
ある	12	30.0	18	22.8	0.574
過去1年間には受けていない	10	25.0	20	25.3	
1年以上前に陽性を確認している	0	0.0	5	6.3	
答えたたくない	0	0.0	1	1.3	
無回答・非該当	18	45.0	35	44.3	
計	40	100.0	79	100.0	
最後にHIV(エイズ)検査を受けた場所はどこですか？(いくつでも)					
保健所	15	37.5	20	25.3	0.152
病院・医院	3	7.5	15	19.0	0.181
国分町夜間検査	1	2.5	4	5.1	0.495
青葉区役所土曜検査	2	5.0	1	1.3	0.307
郡山駅前土曜検査	0	0.0	1	1.3	0.478
土曜検査	0	0.0	1	1.3	0.478
HIV検査イベント・臨時検査会	2	5.0	3	3.8	0.548
自宅検査キット	1	2.5	1	1.3	0.519
その他	1	2.5	5	6.3	0.429
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？					
ある	37	92.5	76	96.2	0.383
ない	3	7.5	3	3.8	
無回答	0	0.0	0	0.0	
計	40	100	79	100.0	
過去6ヶ月間の特定タチとのコンドーム使用					
1 常用	3	12.5	24	50.0	<u>0.002</u>
2 非常用	21	87.5	24	50.0	
計	24	100.0	48	100.0	
過去6ヶ月間の特定ウケとのコンドーム使用					
1 常用	6	31.6	22	61.1	<u>0.037</u>
2 非常用	13	68.4	14	38.9	
計	19	100.0	36	100.0	
過去6ヶ月間のその場タチとのコンドーム使用					
1 常用	5	41.7	28	84.8	<u>0.004</u>
2 非常用	7	58.3	5	15.2	
計	12	100.0	33	100.0	
過去6ヶ月間のその場ウケとのコンドーム使用					
1 常用	4	33.3	21	84.0	<u>0.002</u>
2 非常用	8	66.7	4	16.0	
計	12	100.0	25	100.0	

東北調査2009集計

	バレーボール(n=40)		やろっこ(n=79)		χ^2 検定
	人数	%	人数	%	
今後、「彼氏、恋人、セフレなど特定相手」とのアナルセックスでコンドームを毎回使いたいと考えていますか？					
毎回使いたい	12	30.0	38	48.1	<u>0.09</u>
できるだけ毎回使いたい	14	35.0	25	31.6	
使いたくない	1	2.5	5	6.3	
考えていない	11	27.5	8	10.1	
無回答	2	5.0	3	3.8	
計	40	100.0	79	100.0	
今後「その場限りの相手」とのアナルセックスで、コンドームを毎回使いたいと考えていますか？					
毎回使いたい	22	55.0	63	79.7	<u>0.014</u>
できるだけ毎回使いたい	9	22.5	7	8.9	
使いたくない	2	5.0	0	0.0	
考えていない	6	15.0	5	6.3	
無回答	1	2.5	4	5.1	
計	40	100.0	79	100.0	
過去6ヶ月間を振り返って、あなたはHIVに感染する可能性がある行動をしたと思いますか？					
全くなかった	14	35.0	21	26.6	0.395
あまりなかった	3	7.5	18	22.8	
少し可能性があった	13	32.5	21	26.6	
十分可能性がある	6	15.0	12	15.2	
わからない	4	10.0	6	7.6	
無回答	0	0.0	1	1.3	
計	40	100.0	79	100.0	
あなたのまわりにHIVに感染した友達や知り合いはいますか？					
いる	8	20.0	28	35.4	<u>0.413</u>
いると思う	10	25.0	15	19.0	
いないと思う	8	20.0	17	21.5	
いない	7	17.5	8	10.1	
分からぬ	7	17.5	11	13.9	
計	40	100.0	79	100.0	
東北地域に住んでいるゲイ・バイセクシュアル男性の知り合いで過去6ヶ月に実際に会った人は約何人いますか？					
0人	3	7.5	4	5.1	0.107
1-9人	5	12.5	29	36.7	
10-19人	10	25.0	18	22.8	
20-29人	6	15.0	9	11.4	
30-39人	8	20.0	7	8.9	
40-49人	1	2.5	0	0	
50-59人	3	7.5	5	6.3	
60-69人	1	2.5	0	0	
100人以上	3	7.5	4	5.1	
無回答	0	0.0	3	3.8	
計	40	100.0	79	100	
これまでに以下のコンドームを持ち帰ったことがありますか？					
ある	26	65.0	41	51.9	<u>0.173</u>
ない	14	35.0	38	48.1	
計	40	100.0	79	100.0	
以下のような「やろっこ」のポストカードを見たり持ち帰ったりしたことがありますか？					
ある	15	37.5	33	41.8	<u>0.654</u>
ない	25	62.5	46	58.2	
計	40	100.0	79	100.0	